

チーム医療：呼吸ケアチーム（RST）

—関係部署—

心臓血管外科
循環器内科
外科
歯科口腔外科
血液内科
整形外科
総合内科・感染症内科
呼吸器外科
内科

—概要—

2010年度の診療報酬改訂から、呼吸ケアチーム（RST：Respiratory care Support Team）加算が新設された背景から、当院でも同年よりRSTが結成された。

2013年度は、呼吸器内科医師、集中ケア認定看護師、急性重症患者看護専門看護師、臨床工学技士、理学療法士がコアメンバーとなり、人工呼吸器離脱のための呼吸ケアに係る専任チームとして活動した。

RSTの目的は、人工呼吸器の離脱に向け、患者家族の苦痛緩和を含む呼吸管理および看護方法の相談を受け、医療チームを支援することである。安全な呼吸ケア提供のために必要な知識を医療者に提供し、医療の質向上を目指す。

2012年度のRST対象患者は延べ64名であったが、2013年度は15人と激減した。これは救命救急センターとの一体化により、一般病棟での呼吸器装着患者数が激減したためである。

活動内容は、週1回のラウンド【毎週水曜PM1時間程度で数名】に加え、呼吸器内科医師が不在時は個人ラウンド（メンバーが単独で訪問し、主治医・受け持ち看護師と共にケアを実施）を行った。当該部署でのケア継続のために、回診時はRST診療録の記載と、回診内容の口頭伝達を行った。スムーズな呼吸器離脱とその後の呼吸ケアについて助言・支援し、患者の心身の苦痛緩和、安全確保、看護師のケア能力の向上を目指して相談を受け支援を行った。

また、呼吸ケアに関する学習会の企画・運営・講義も積極的に行い、特に看護師の呼吸ケア知識・技術のボトムアップに取り組んだ。

呼吸ケアに関するデータ収集（人工呼吸器離脱率や再挿管率・離脱成功基準や失敗の理由・依頼状況や素因・

人工呼吸器離脱患者数・人工呼吸器日数など）も、継続して行った。

—実績—

RST対象延べ患者は15人（うち加算対象11人）

21 回回診×150 点＝3,150 点/年。

呼吸ケアに関するデータ収集結果

呼吸器離脱率：66.7%

呼吸器装着人数：14 人

呼吸器装着日数：平均 37.2 日

呼吸器離脱までの日数：平均 21.7 日

再挿管率：0%

死亡率：21.4%

VAP 発生率：不明

誤嚥性肺炎発生率：不明

肺合併症（嚥下訓練・呼吸訓練）管理相談：0 件

人工呼吸器ケア管理相談：16 件

教育委員会主催の研修講義

呼吸・循環フィジカルアセスメント

画像と血液データの見方

人工呼吸器装着患者看護

ラダーⅠ（2 回）＋ラダーⅡa（3 回）

「良い」以上の評価 87.3%

院内エキスパート教育（呼吸ケア）

90 分×8 回/年

RST 主催の勉強会

60 分×4 回/年

